

# 次期地球温暖化対策実行計画の 副題・将来像について

令和7年度第4回環境基本計画策定委員会用

前回の委員会で、調布市地球温暖化対策実行計画の副題(キャッチフレーズ)を新たに設定するに当たり、環境フェアで意見を募ることをお知らせしていました。

第3回環境基本計画策定委員会(10月8日開催)の際のご説明資料より

## 調布市地球温暖化対策実行計画 の副題について

市民や事業者とともに実行していく計画とする取組の一環として、11月1日(日)に開催する市主催の環境分野の総合イベントである「環境フェア」で、来場者から計画の副題について意見を募る予定です。

事務局で考えている現時点の副題の案は以下のとおりです。

※次回開催予定の策定委員会で、副題の案を決める予定です。

< 計画の副題の事務局案 (10月8日時点) >

- ①～市、市民、事業者が共に取り組むゼロカーボンチャレンジ～
- ②～共に考え、共に創る、ゼロカーボンシティちょうふ共創プラン～
- ③～未来を変えるための、私たちのゼロカーボンアクション～
- ④～まちのチカラ、みんなのチカラでゼロカーボン～
- ⑤～ゼロカーボンのまちへ——みんなで、進もう～

その後、委員の方からもご意見をいただき、副題の案を再度検討したうえ、意見を募りました。

(意見募集の内容は2～3ページ参照)

意見募集の結果、65人の方から、計画副題案に対する回答をいただきました。

(集計結果は4ページ参照)

# 環境フェアご参加のみなさん！

## 次期調布市地球温暖化対策実行計画の キャッチフレーズ（副題）を募集中



調布市地球温暖化対策  
啓発キャラクター **ゴヤたん**

ゼロカーボンシティ調布の実現に向けたアクションプランである調布市地球温暖化対策実行計画は、現在、令和8年度からの次期計画の策定を進めています。

この計画を市民の皆さまに身近に感じていただけるような「キャッチフレーズ(副題)案」への意見を募集します。

**【応募方法】**「投票用紙 兼 ご意見記入用紙」にご記入いただき、回収箱に入れてください。

※回収箱は、「中央図書館」と「環境フェア会場」に設置

**【決定フレーズの発表】**

市ホームページで4月上旬に公表するとともに、4月5日号または20日号市報で発表予定です。  
なお、今回のフレーズ案は、いただいたご意見や今後の協議を踏まえ、文言の修正をさせていただく場合があります。

# キャッチフレーズ（副題）案

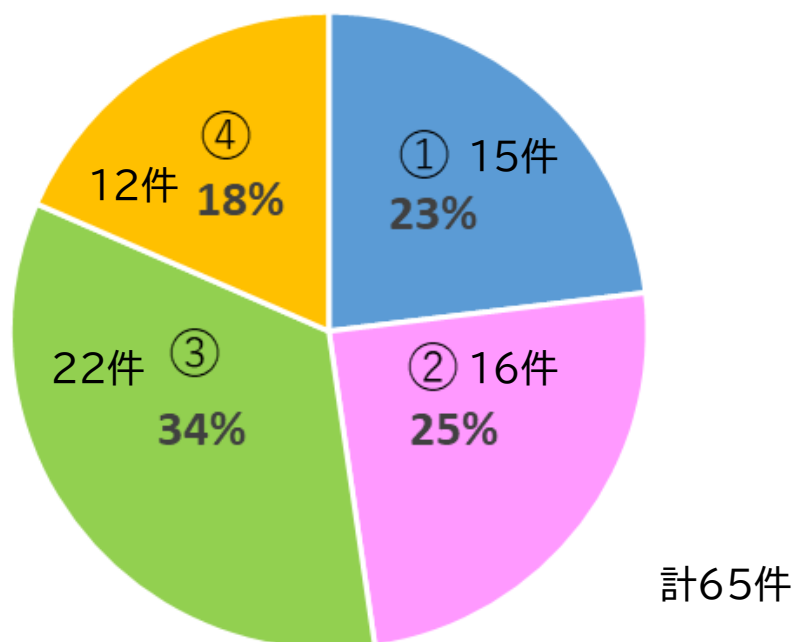
- ① 地球にやさしい暮らしを広げ、未来に安心をつなぐまちへ  
ー未来を変えるための、わたしたちのゼロカーボンアクションー
- ② 地球にやさしい暮らしで 安心と豊かさを未来へ持続させるまち  
ーみんなで取り組むゼロカーボンアクションプランー
- ③ このまちの安心を、次世代の「当たりまえ」に  
ーまちのチカラ、みんなのチカラでゼロカーボンー
- ④ 安心を持続し わたしたちの暮らしと未来をつなぐまち  
ーあなたと一緒に ゼロカーボンチャレンジー

別のご提案も含め、ご意見を募集しています！

# 意見募集結果

## 次期調布市

### 地球温暖化対策実行計画キャッチフレーズ



- ① 地球にやさしい暮らしを広げ、未来に安心をつなぐまちへ  
ー未来を変えるための、わたしたちのゼロカーボンアクションー
- ② 地球にやさしい暮らしで 安心と豊かさを未来へ持続させるまち  
ーみんなで取り組むゼロカーボンアクションプランー
- ③ このまちの安心を、次世代の「当たり前」に  
ーまちのチカラ、みんなのチカラでゼロカーボンー
- ④ 安心を持続し わたしたちの暮らしと未来をつなぐまち  
ーあなたと一緒に ゼロカーボンチャレンジー

対象NO	ご意見
①	未来にたくすのではなく今から取り組みをする！というかんじでいいなと思いました。
②	ーみんなで取り組むゼロカーボンアクションプランー ⇒ ー未来を変える「ゼロカーボン」さあ,みんなで始めようー
②④	「持続」は固すぎる
③	短かく, 簡潔で心に響きます
	調布には, メガソーラーパネルは絶対やらないで下さい
	わかりやすいのがいい

# 計画において目指す将来像の更新について

今回、次期計画の副題として意見募集を行ったところですが、以下の理由から、副題に留めず、次期計画において目指す将来像として位置付け、計画(案)58ページ(概要版の12ページ)に盛り込んでいます。

将来像については、意見募集結果を踏まえ、次回委員会で委員の皆様からご意見をいただきたいと考えています。

次期計画を策定するに当たり、市民の皆さんからは「そもそもゼロカーボンってどういうこと?」「具体的な取組方法が分かれば実践できるのに」という声を多くいただきました。また、事業者の皆さんからも、脱炭素化に取り組む上での問題点として「知識やノウハウの不足」があげられ、行政からの積極的な情報発信と各主体における実践の積上げが課題として浮き彫りになりました。

年を増すごとに気候変動を肌で感じる危機的状況の中、脱炭素行動を一層加速させるためには、これまで目指す将来像としてきた「ひとりひとりの“かしこい選択”」を積み重ねることにとどまらず、その取組を波及させていく「地域の力」が必要不可欠です。

私たちが目指す「ゼロカーボンシティ調布」は、CO2排出量の実質ゼロを達成する都市であると同時に、それを目指す過程で地域のさまざまな主体がつながり、コミュニティの活性化や防災力の向上など、新たな生活の豊かさが生まれるまちです。

これからも調布の良さと快適な暮らしが守られ、それが次世代にも受け継がれるよう、脱炭素行動がジブンゴト化され、それが日常となる姿を思い描き、新たな将来像を設定します。

調布市地球温暖化対策計画において目指す将来像

**このまちの安心を 次世代の「あたりまえ」に  
～まちのチカラ みんなのチカラで ゼロカーボン～**

調布市地球温暖化対策計画において目指す将来像

**めざそう 脱炭素のまち 調布  
～ひとりひとりの“かしこい選択”がつくる わたしたちの暮らしと未来～**

